


SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 1 月 21 日

| 事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿 | | | |
|---|---|--|--|
| ウレタン等の素材が持つポテンシャルを引き出し、更に人々の生活が豊かになるような新製品の開発・環境に配慮した生産体制の整備に尽力することで、持続可能な社会の発展に寄与していく。 | | | |
| 事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動 | | | |
| 端材のリサイクル推進や太陽光発電によるクリーンエネルギーの活用、医療・スポーツ業界向けの商品開発及び供給、地域の中学生～大学生のインターンの受け入れ等を通じ、環境や地域社会への貢献を意識し活動してきた。 | | | |
| 目標に関連する取組内容 | | | |
| ゴール | 2021年12月31日までの取組目標 | 左記取組目標の達成状況 | 2022年12月31日までの取組目標 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 医療系大学との共同開発を継続する。 個人向けスポーツ用品の供給量を拡大し、運動機会 創出および安全な施設運営に貢献していく。 | <ul style="list-style-type: none"> 医療系大学との共同開発を継続中。 コロナ禍にありスポーツ施設用製品ニーズは低迷。一方で、義肢装具向け製品展開を検討しており、次年度以降に事業化を目指している。 | <ul style="list-style-type: none"> 医療系大学との共同開発を継続する。 義肢装具向け製品展開を検討し、社内体制構築を目指す。利用者の使用感向上、豊かな生活へ貢献する。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 学生のインターン受け入れについて、状況を見ながら受け入れを検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍にあり今年度も引き続き受け入れ中止。 | <ul style="list-style-type: none"> 学生のインターン受け入れについて、感染状況を見ながら受け入れを検討する。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 自家発電および新電力の活用を継続する。 | <ul style="list-style-type: none"> 自家発電量は78,000kwhと貢献。 | <ul style="list-style-type: none"> 自家発電量78,000kwhを目標とする。 新電力の活用を継続する。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 新製品の植物工業向け製品の供給量を拡大し、農作物の安定供給へ貢献する。 | <ul style="list-style-type: none"> 植物工場向けの新製品PRの為、専門HPとチラシの作成へ着手した。 | <ul style="list-style-type: none"> 新製品の植物工業向け製品の供給量を拡大し、農作物の安定供給へ貢献する。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> 歩留まり率の向上→75% 端材のリサイクル率向上→45% 廃棄物排出量→年間34.2トン以下 | <ul style="list-style-type: none"> 作業改善等にて歩留まり率およびリサイクル率は向上したが、目標達成はならず。 廃棄物排出量についても35.0トンと目標未達となった。 | <ul style="list-style-type: none"> 歩留まり率の向上→75% 端材のリサイクル率向上→45% 廃棄物排出量→年間34.2トン以下 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> CO2排出量を削減した新材料の利活用を取引先に積極的に提案していく。 省エネ設備への更新を継続する。 | <ul style="list-style-type: none"> CO2排出量を削減した新材料の利活用を取引先に積極的に提案してきた。 省エネ設備を新規導入した。 | <ul style="list-style-type: none"> CO2排出量を削減した新材料の利活用を取引先に積極的に提案していく。 省エネ設備への更新を継続する。 |

（記載上の注意）

- 取組目標は3つ以上のゴールについて目標を設定し、記載してください。
- 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

| | | | |
|---|--------------------|---------------------------|--------|
| 1 | 事業所・団体等又は関連事業者等の名称 | 富士護謄産業株式会社 | |
| | | 本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数 | |
| 2 | 業 種 | 3. 製造業 | |
| 3 | 従業員（構成員）数 | 27 人 | |
| 4 | 代表者 職・氏名 | 職 名 | 代表取締役 |
| | | 氏 名 | 宇佐美 裕之 |
| 5 | 所 在 地 | 〒 424-0023 | |
| | | 静岡市清水区八坂北1-21-37 | |
| 6 | ホームページURL | www.fujigomu.co.jp | |